

令和7年11月21日

中国遊技機商業協同組合の社会貢献活動の紹介

特別支援学校に事業活動用物品を寄贈

中国遊技機商業協同組合社会貢献委員会（上原正明委員長）では、本年9月26日、令和7年度の当組合主催事業である、未来ある子供達に夢と希望を与え、次世代を担う子供達を支援することを目的とする「第15回子供支援チャリティー・ゴルフコンペ」を広島県東広島市所在の東広島カントリークラブにおいて開催し、組合員、同所属の社員並びに一般参加者等185名が参加し、親睦を深めながら盛会裏に終了した。この恒例となったチャリティー・ゴルフコンペでは、これまでと同様、参加費並びにその他温かいご支援により募ることができたチャリティー募金等約62万円を浄財として子供支援の趣旨に従い、11月4日には鳥取県立琴の浦高等特別支援学校（笠井ひろみ校長）に「充電式ファンベスト」11着（約32万円相当）、11月19日には広島県立黒瀬特別支援学校（佐伯昌史校長）に「ポップアップサッカーゴール等」33点（約30万円相当）をそれぞれ寄贈し、各日とも社会貢献担当役員山本紘司副理事長が直接2校を訪問して目録が手渡された。（以下写真1及び2参照）

山本紘司担当役員は、「少しでも子供さんのお役に立てていただければ幸いです。」と述べ、各学校長においては、「寄贈の物品は子供達のために有効かつ大切に活用させていただきます。」旨謝辞を述べられた。

中国遊技機商業協同組合では、今後も継続的に支援を行っていく予定である。

（写真1）

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校



向かって左 山本紘司社会貢献担当役員
向かって右 琴の浦高等特別支援学校生徒

（写真2）

広島県立黒瀬特別支援学校



向かって右 山本紘司社会貢献担当役員
向かって左 佐伯昌史 校長